

令和3年度 指定管理者施設管理評価シート		部課名	福祉部高齢福祉課	
施設名称	28 東京都台東区立せんぞくデイホーム	指定管理者	社会福祉法人台東区社会福祉事業団	
選定方法	<input type="checkbox"/> 公募 <input type="checkbox"/> 継続特例 <input checked="" type="checkbox"/> 非公募	指定期間	R2.4.1	～ R7.3.31

1. 施設及び事業の概要	
(1)	[設置目的] 要支援、要介護高齢者のデイサービスの場として、その心身の健康保持及び生活の安定のための各種の介護サービスを提供する。
(2)	[所在地] 台東区千束3-28-13 [規模] 延べ床面積 6,733.87㎡のうち755.5㎡ RC造 地上7階地下2階のうち5階の部分
(3)	[委託事業] ①認知症対応型通所介護（送迎・入浴・食事・機能訓練・生活相談等） ②介護予防認知症対応型通所介護（送迎・入浴・食事・生活相談等）（定員 認知症対応デイ：12名） [自主事業] 自主事業は行っていない。
(4)	[利用者] 要支援・要介護と認定された高齢者 [利用料金制] <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
(5)	[開館日・時間] 月曜日から土曜日（年始1月1日～2日を除く）午前8時30分～午後5時15分
(6)	[人員体制] 7名 （内 訳）生活相談員（常勤1）、ケアワーカー（短時間2、臨時職員3）、看護師（派遣1） （前年増減）増減なし（生活相談員（短時間-1）、ケアワーカー（短時間+1））

2. 予算決算		R元予算	R元決算	R2予算	R2決算
収入	委託料（指定管理料）	6,658,000	6,658,000	7,500,000	7,500,000
	利用料金収入	36,521,000	34,898,606	37,415,000	38,375,372
	その他収入（施設整備等補助金収入等）	1,077,000	3,650	688,000	630,188
	計	44,256,000	41,560,256	45,603,000	46,505,560
支出	人件費	26,260,000	26,751,637	26,951,000	30,977,677
	光熱水費	2,971,000	2,709,836	3,417,000	2,578,093
	維持管理費（委託料・賃借料）	8,497,000	8,073,823	8,445,000	8,026,865
	修繕費	800,000	317,496	800,000	679,712
	事業費	0	0	0	0
	その他支出（保守料等）	5,728,000	4,105,070	5,990,000	4,247,502
	計	44,256,000	41,957,862	45,603,000	46,509,849
収支			-397,606		-4,289

3. 活動指標	単位	(目標値)R4年度	H30年度	R元年度	R2年度
開館日数	日	-	310	311	311
定員	人	-	12	12	12

4. 成果指標	単位	(目標値)R4年度	H30年度	R元年度	R2年度
利用率	%	78	67.6	72.6	79.4
利用者数	人	2,900	2,513	2,710	2,943

5. 前回評価の結果に対する、現在までの取組み状況	
サービス利用者数の増加に伴い、利用料収入が増加、収支状況について改善がなされた。	

6. 評価の観点	
(20点) 水準を全て満たしている(年間通じて問題がなかった) (19~14点) 水準の範囲内である(一部軽微な課題あり) (13~12点) 水準をやや下回った (11点以下) 水準を大きく下回った	
(1) 管理の適正性	法令等の遵守、事業計画書・報告書等の作成・提出、従業員の労働環境などの観点から、公の施設として、適正な管理体制及び運営が行われているかを評価する。
20 / 20 点	関係法令、通達等に基づき施設運営を行っており、実績報告書等、施設から区に対しての提出書類については適切に行われている。
(2) 事業の運営	職員配置、職員の対応、開館時間等の遵守などの観点から、施設の目的に合致した事業が展開できているかを評価する。
20 / 20 点	施設運営にあたっては、配置基準に応じた形で介護福祉士等の人員を配置しており、適切なサービスの提供が行えている。新型コロナウイルス感染症の影響もあり対策が求められる中でも令和元年度より利用者数を増やし、目標数値を達成できた。
(3) 施設の維持管理	建物保守、清掃・衛生管理、施設の修繕などの観点から、施設の維持管理が適切に行われているかを評価する。
20 / 20 点	前回の施設改修から年数が経っており緊急工事が必要な事例が多いが、その都度区と連絡を取りながら適切に対応が行えている。
(4) サービス向上の取組み	利用者満足度調査、要望・意見等への対応、指定管理者の努力・意欲などの観点から、サービス向上に向けた取組みが積極的に行われているかを評価する。
20 / 20 点	サービス利用者・家族を対象とした利用者満足度調査においては令和元年度に引き続き良好な結果であり、適切なサービス提供が行えている。
(5) 収入支出	予算執行、会計の管理などの観点から、収入支出が適正かつ効率的に行われているかを評価する。
15 / 20 点	利用率の向上により利用料収入が増加し、おおむね当初計画どおりの予算執行ができています。支出面では光熱水費や維持管理費については改善が見られた。一方で人件費について令和元年度より増加しているため、更なる効率化が求められる。

(6) 優れた取組み 《加点項目》 ※点数上限：10点	指定管理者の自主的な取組みによる成果
—	点

7. 総合評価	
極めて良好(110~101)・良好(100~91)・適正(90~70)・改善指示(69以下)	
良好 (95 / 110点)	<p>【所見】</p> <p>認知症デイサービスは利用者が限定されることから利用率が伸びにくい中、ここ数年は数値が改善傾向にあり、新規利用者獲得への努力やサービス提供内容が評価され結果に繋がったものと考えられる。</p> <p>【各項目20点に届かなかった主な要因・課題】</p> <p>利用料収入の増加により収支状況は改善しつつあるが、令和元年度比で人件費支出が大きく上昇している。要因を分析し、サービス提供の質を維持しつつ、人員配置の効率化など、改善に取り組んでいくことが求められる。</p>